



令和3年度 植田東中学校だより No.18 2021/12/23

HIGASHI

発行者

校長 西内英理

## この2学期も様々なご協力、ありがとうございました。

本日で、残暑厳しい8月から朝晩の冷え込みが厳しい12月までの、83日間にわたる第2学期が終了しました。コロナ渦の影響で、様々な教育活動が中止になったり、予定が変更されたりする中、保護者の皆様には様々な面でのご理解とご協力、誠にありがとうございました。

本日の終業式で、子どもたちには次のような話をしました。

[まずは、自分自身この2学期でどのくらい成長できたと思うか自己採点してもらいました。]

先日、とある大企業の役員2人に「現代の企業はどのような人材を求めているのか」ということを聞いた。2人の答えはほぼ共通。「集団の中で、自分の役割を自分で見つけ、確実に果たせる学生」、「『自己マネジメント力』のある学生」ということであった。

### 1 「集団の中で、自分の役割を自分で見つけ、確実に果たせる学生」

自分のチームの中で、集団としてよりよい成果を上げるために、自分の役割以外にもやるべき事を自主的に見つけ、創意工夫を活かして取り組むことが出来る人間が求められる。

### 2 「『自己マネジメント力』のある学生」

「自己マネジメント力」とは、

- ① 自分の長所や短所を正しく理解する。
- ② 長所を伸ばし短所を克服するためには何が必要かを考え、目標（到達点）を明確にした上で、その達成のための計画を立てる。
- ③ 計画を確実に実行する。その際、スモールステップでの目標（小目標）を掲げて取り組むことが有効である。
- ④ 取り組み状況を、「成果」と「課題」に分けて評価（反省）する。
- ⑤ 評価（反省）したことをもとに、改善点を明確にして対策を立て、実行する。

2学期の始業式には、みなさんの普段の素晴らしい挨拶に、心や気持ちを込めてほしい、挨拶を通して相手に自分の気持ちやメッセージを伝えてほしい、という事を話した。

元気な声で挨拶をすることで気持ちを伝える人、丁寧な礼をすることで気持ちを伝える人、にこやかな表情で挨拶をすることで気持ちを伝える人、ゆっくりとはっきりした言葉で気持ちを伝える人、相手の目を見て気持ちを伝える人……。その方法は人それぞれだと思う。自分や相手、その場にあった方法で気持ちを伝える挨拶ができるようになってほしい。

明日からの冬休み、有意義な日々になることを期待している。そして、すばらしい令和4年を迎えられることを願っている。